

第2期福井市スポーツ推進計画【概要版】

背景・趣旨

市民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な形での自発的な参画を通じて、スポーツの持つ楽しさを真に実感できるまちの実現を目指し、「第2期福井市スポーツ推進計画」を策定します。

位置付け

「第3期スポーツ基本計画」の考え方や方向性を参酌・反映するとともに、本市の上位計画「第八次総合計画」や「第3期教育振興基本計画」と整合性を図り、今後5年間のスポーツを推進する基本計画とします。

基本理念

“生涯にわたりスポーツを楽しむことができるまち”
～誰もが心身ともに健康で活気あふれるまちふくい～

基本方針

施策

重要業績指標

I 『スポーツ機会の創出』

「する・つづける」

誰もが気軽に参加できるスポーツを「する」機会を創出する視点と、健康のためにスポーツを「つづける」視点を基本方針とし施策を展開します。

- ① 生涯にわたるスポーツ活動の推進
- ② 誰もが気軽に参加でき親しめるスポーツ機会の創出
- ③ スポーツによる健康増進と共生社会の実現
- ④ 児童生徒の体力維持向上とクラブ活動の活性化

II 『スポーツ文化の振興』

「みる・たのしむ」

スポーツイベントや大会等を「みる」視点と、地元トップスポーツチームを応援し「たのしむ」視点を基本方針とし施策を展開します。

- ⑤ スポーツに関する情報発信の強化
- ⑥ 地元トップスポーツチームの応援文化機運醸成
- ⑦ 誰もがスポーツに参加しやすいDXの推進
- ⑧ スポーツを実施する者の安全・安心の確保

III 『スポーツ活動への参加促進』

「ささえる・かかわる」

スポーツ大会等を、ボランティアとして「ささえる」視点と、各種団体等が、スポーツをする人と「かかわる」立場でスポーツを「ささえる」視点を基本方針とし施策を展開します。

- ⑨ スポーツボランティアの育成と参加促進
- ⑩ スポーツ推進委員との連携と協働
- ⑪ スポーツ団体への支援と各種表彰制度の推進
- ⑫ 地域スポーツクラブとのネットワークづくり

IV 『スポーツ施設的环境整備と活用推進』

「あつまる・つながる」

スポーツ施設に人が「あつまり」人と人が「つながる」視点と、スポーツコミッションの取組を推進することで、地域の活性化に「つながる」視点を基本方針とし施策を展開します。

- ⑬ スポーツ施設の整備と改修
- ⑭ スポーツ施設のさらなる活用推進
- ⑮ スポーツを活かした地域の活性化
- ⑯ スポーツを通じた交流人口の拡大

計画全体で配慮すべき視点

- ①人口減少と少子高齢社会の進行
- ②超スマート社会の到来
- ③人生100年時代の到来
- ④SDGsの推進
- ⑤「新たな日常」への移行



計画期間

5年間（令和6年度～令和10年度）

(1) 週1回以上軽運動やスポーツをする成人の割合

48.7% (R5) → 70.0% (R10)

(2) 市体育施設の利用者延べ人数

1,003,490人 (R4) → 1,300,000人 (R10)

(3) ふくい桜マラソン大会出走者の満足度

72.1点 (R4) → 90点以上 (R10)